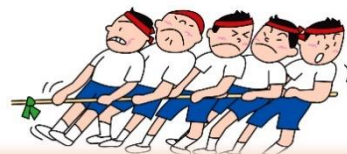


長柄小だより

考えて行動できる子
～自立・創造
しなやかな心～

令和5年度 第14号
2023年10月27日
葉山町立長柄小学校
校長 長谷川 泰子
TEL 046-875-6860

こどもたちが主役の 運動会



良いお天気に恵まれ、運動会を終えることができました。今年は「子どもたちが主体的に考える」運動会を目指し、職員はいろいろな工夫をしながら運動会に臨みました。種目を考えるところから、子どもたちと一緒に作り、子どもたち自身もよく考えて取り組んでいたように思います。一人一人、今何をするかが分かっていたので、子どもの係活動も大人顔負けの動きでした。応援を一生懸命する姿も非常に素敵でした。

コロナが明け、はじめての運動会でしたが、保護者の方、地域の方も譲り合いながら観覧していただきました。半日開催とはいえ、ずっと立ちっぱなしになってしまう保護者の方のことを考えると来年度はその点について、検討が必要かもしれません。

保護者の方々からの一日開催を望む声も学校には届いております。しかし、子どもたちの力量や、教職員の準備にかかる時間等、総合的に考えると子どもたちが考え、運営する運動会としては、半日開催がちょうどよいボリュームであったと感じています。半日開催の意義も十分にあると思っております。引き続き様々なご意見に耳を傾けながらも、子どもたちにとって実りのある行事になるよう考えていくつもりです。

応援、ご協力、ありがとうございました。



秋の個人面談

11月21日(火)～30日(木)

個人面談を行います。(希望者)先日、各学級で希望表を配布いたしました。ご都合等をご記入の上、11月2日(木)までに各担任へご提出ください。

おうちの方との情報交換は教育活動に大変重要なものです。ご協力お願いいたします。

★長谷川コラム★

うちの娘は物を落としてくる名人…

注意欠陥のわが娘(私に似たのですが)定期も身分証明証もとにかく何でも落としてくる。「落とし物ですが…」と繰り返し電話を受けてきた日々。

そんな娘に以前「どうして落としてくるの!」と言ったところ、「これは叱られても治らないよ。叱って治るならもうとつくに治ってるよ。どうしたら落とすか分析してるけど、まだ、対策が足りないんだよね。でも日本はすごい。必ず落とし物が返ってくるんだよ。ははは。」

なるほど…言葉が出なくなった母でした。



11月行事予定

泉教頭の 子育て時のお話

心の記憶

1	水	
2	木	朝の集い(生活目標)
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	3年遠足
7	火	音楽鑑賞会 武山支援学校児童居住地交流
8	水	
9	木	朝の集い(給食・保健委員会)
10	金	委員会活動④
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	朝の集い(放送・体育委員会)
17	金	クラブ活動
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	個人面談①
22	水	4年遠足 個人面談②
23	木	休日参観(勤労感謝の日) 朝の集い (図書・生活美化委員会)
24	金	休日参観代休
25	土	
26	日	
27	月	個人面談③
28	火	個人面談④
29	水	
30	木	1,2年遠足 個人面談⑤

親としては、子どもの成長をたくさん撮っておきたいと思うものです。

今は私が小さな頃と違ってたくさんの記憶媒体があります。もちろん私が小さな時にはビデオカメラなどは一般家庭にはありませんでしたので、その頃の私の映像はありません。私の小さな時の様子を確認することが出来るのは、何枚かの写真です。私に子どもができた時は、それはそれは嬉しくて、新しいデジカメを購入したのを覚えています。しばらくしたらビデオカメラも買いました。子どもを撮っては、晩御飯の時に子どもと一緒に夫婦で見たものです。

ある時、何かの記事で「子どもが自分の姿をビデオで見ると、せつかくその時に五感で感じたものが、全て映像にすり替わってしまう」というような内容のものを読んだことがありました。本当かどうかは定かではありませんが、納得いった私はその日からビデオを撮っても子どもと一緒に見ることはやめました。また、自分自身の子育ての記憶が、その時触れた感触や匂いや味や感情などが全部映像にすり替わることを憂いて、撮ったビデオを見るのをやめました。また、ビデオ以外の記憶媒体にもチャレンジしたことがあり、忙しかった子育ての合間にその時に感じたことを文章で残してみたりしたこともありました。

今、振り返り、子どもが大きくなり、その頃のビデオを見るのと、その頃の文章を読むのでは、蘇ってくる感情は確実に文章の方が感動として蘇ってきます。

子どもも親もきっと、その時その時に感じたことは映像の中以上の多くのことを体全体で受け取っているはずで、体全体で受け取ったことを思い出として、心に刻んでいけるような親でありたいと思い、またそんな子どもを育てていきたいと思って取り組んでみた、私の子育ての時のお話を紹介させていただきました。いつか、もっと子どもが大きくなってから、まだ見ていない押し入れのどこかにしまっているビデオの中身を子どもと夫婦で見ることにも今の私の楽しみにもなっています。共感していただけたら参考にしてみてください。